



図書館員が選ぶ この一冊

24

『プリズンの満月』新潮文庫

吉村 昭／著

第二次世界大戦後、勝者が敗者を裁いた東京裁判の結果、戦犯とされた人々は「巣鴨プリズン」に収監された。架空の一刑務官鶴岡の目を通して描いた小説だが、昭和33年の閉鎖まで在任した職員の記録や綿密な取材を元にしており、プリズンでの出来事は全て事実である。裁判の不当性、諸外国間の政治力学などを淡々と描写しながら、関係者たちの心情や苦悩を深く描き出している。



池袋にあるサンシャインシティ、そびえ立つ華やかなビルは「巣鴨プリズン」の跡地に建つ。75年前に起こった出来事を題材にしたこの作品は歴史の大きな転換期を知る一助となる。